

鹿児島

(モンタヌス『日本誌』より)

モンタヌス 17世紀 アムステルダム刊

ザビエル到着!

以後よく広まるキリスト教



1549年、ザビエルが鹿児島に到着しました。キリスト教はこの年をもって日本に伝来したとされています。図は鹿児島の港を描いたものです。右手奥の高い山は街から4kmの距離にあると記され、桜島と推測されますが、想像で描かれているため、位置関係に誤りがあります（正確には錦江湾の対岸です）。本書の著者はアムステルダム生まれの牧師で、作家としても名を馳せました。彼自身は日本を訪れたことはありません。

Kagoshima from The History of Japan, Montanus, 17th century, Amsterdam

Francisco Xavier who brought Christianity to Japan arrived in Kagoshima in 1549. The high mountain on the far right corner is situated 4km from Kagoshima city, according to the author Montanus' description. It can be surely Mt. Sakurajima, although it was drawn on the opposite side. Montanus was a Dutch clergyman and an author. He had never been to Japan.



鹿^か児^こ島^{しま} ㊦ モンタヌス^{せいせい} 17世紀 アムステルダム

ザビエル^{どうぢめく}到着^{いご}！以後よく広まるキリスト教^{きりう}



何と書いてあるかな？

ここに数字つきで、川や山、お寺などの説明があるよ！絵の中に書かれた小さな数字を見つけられるかな？

たぶん、桜島。

★モンタヌスって、どんな人？
⇒オランダ出身の牧師です。歴史や地理にくわしく、世界中の地域の歴史や文化、地形などについて、本を書きました。一度も日本を訪れたことはなかったにもかかわらず、その中には、日本について書かれたものもあります。

★1549年、イエズス会宣教師のフランシスコ・ザビエルが鹿児島に到着し、島津氏という当主の許可をもらい、布教を始^はめます。鹿児島は、日本でキリスト教が広まる始^はまりの地でしたが、やがて長崎や平戸にポルトガル船がやってくるようになると、布教は禁止^{しん}されました。

Blank lined writing area for notes.